

NHKスペシャル

「戦国 ～激動の世界と日本～」

第1集 秘められた征服計画 織田信長×宣教師

2020年4月18日(土)午後9:00～9:49(総合テレビ)

第2集 ジャパン・シルバーを獲得せよ 徳川家康×オランダ

2020年4月25日(土)午後9:00～9:49(総合テレビ)

今、世界各地で「日本の戦国時代」に関する文書などの発見が相次ぎ、その知られざる姿が明らかになってきている。浮かび上がってきたのは、「大航海時代」のヨーロッパ諸国と日本が強く結びつき、互いに影響を与えながら、日本と世界の歴史を大きく揺るがしていたという事実だ。

第1集は、天下統一にひた走る織田信長から、あとを継いだ豊臣秀吉までの時代。ヨーロッパで公開された16世紀の文書からは、信長や秀吉と、来日したキリスト教の宣教師、そしてその背後にいるポルトガルやスペインとの深い繋がりが見えてきた。宣教師は、アジアの覇権を握るための壮大な計画を抱いて、信長、秀吉と結びつく一方で、水面下で熾烈な駆け引きを繰り広げていたことが分かってきた。

第2集は、豊臣秀吉なき後、徳川家康の天下取りまでの時代。ヨーロッパで見つかった文書には、ポルトガルやスペインに遅れて日本に参入したオランダの商人が、家康を手厚く支援していた様子が記されていた。彼らが見返りとして求めたのは、当時“国際通貨”として最重要の商品となっていた「銀」。世界の3分の1を産出していたとされる日本の銀をめぐる、オランダとスペインの間に激しい攻防が始まっていた。それは同時に、世界の覇権をめざす両国の争いの最前線でもあった。

番組のナビゲーターに西島秀俊さんを迎え、戦国時代の日本の知られざる姿を、世界規模の歴史との関わりの中で、お伝えする。